

令和8年7月13日
福島県県中流域下水道建設事務所

令和9年度脱水汚泥・し渣等の処分に関する サウンディング型市場調査結果

1 目的

福島県の阿武隈川上流流域下水道(県中浄化センター)、及び白河市公共下水道(白河都市環境センター)においては、各終末処理場から下水汚泥(脱水汚泥・し渣等)が日々発生するため、これを安定的かつ確実に処理する必要があります。

また、発生汚泥等の処理に当たっては、肥料化を中心として有効利用する必要があることから、民間の再資源化施設等へ搬出することで有効利用を推進しています。

そこで、受入可能な民間施設を把握し、搬出計画を策定するための基礎資料とするため、事業者の皆さまから率直なご意見をお聞きする「サウンディング型市場調査」を次のとおり実施しました。

2 実施期間

令和8年6月1日(月)～令和8年6月30日(火)

3 調査結果

受入可能な脱水汚泥・し渣等の量などについて、計6者の事業者様にご協力いただき、様々な御意見をいただきました。

調査にご協力いただいた民間企業の皆さまには、厚く御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

4 今後の予定

今回の調査結果を踏まえ、令和9年度の脱水汚泥の収集運搬及び処分業務、並びに、し渣、沈砂等の収集運搬及び処分業務について検討を進めてまいります。